

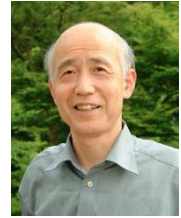
東海研 50 周年記念研究事業／第11回産業構造研究会

ものづくりと現代産業のあり方を考える

—わが名古屋圏産業・企業研究(20年)に触れつつ—

とな なおき
報告 **十名直喜さん** Zoomによる報告

(SBI 大学院大学客員教授、名古屋学院大学名誉教授、
「働学研(博論・本づくり)研究会」主宰)



(名古屋学院大 HP より)

日時 2022年9月24日(土)13時30分～16時00分

会場 愛知中小企業家同友会 6階会議室

●参加費:無料／事前申込必要(氏名、電話、来場 or Zoom)／申込先:研究所電話・FAX or Eメール／締切り 9月16日(金)

◆東海自治体問題研究所(産業構造研究会)は、創立50周年事業として、時代の変化を見据えた「東海地域の産業構造の変化と今後の展望」というテーマのもとに研究を進めています。コロナ感染防止に留意しつつ研究会を開催いたします。ぜひご参加ください。

◆第11回研究会では、十名直喜さんから報告を受け、討論を行います。以下は、報告者のご紹介です。

「より根本的な」ものづくりと現代産業のあり方について論じてほしい、との依頼をいただく。まもなく、「東海地域の産業構造の特質と今後の展望」への示唆を得たい、との注文も届く。これは難題である。自らの東海地域研究をふり返らざるを得ない。

報告者は、この半世紀に9冊の単著書、約200本の論文を発表している。東海産業研究に着手したのは、鉄鋼3部作出版にメドをつけた1996年のことである。以来、2015年までの20年間にわたり約30本の関係論文を発表している。わが東海産業研究の特色は何か。東海研各位の研究との違い(&共通点)はどこにあるのか。東海地域を離れ3年、臨場感は薄れゆくなか、原点に立ち返り、「ものづくりと現代産業のあり方」について考えてみたい。



第11回研究会 会場案内図(左図)

愛知中小企業家同友会

名古屋市中区錦三丁目6-29

サウスハウス6階会議室(事務局は2階)

電話 052-971-2671

アクセス:地下鉄「栄」駅2番出口より3分、
「久屋大通」駅4A出口より徒歩2分)

東海自治体問題研究所 産業構造研究会

電話/FAX :052-916-2540、

Eメール:tjmken@f6.dion.ne.jp まで